

# RRI

Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

りゅうぎん調査

2021  
No.620

6

Ryugin Research Institute



【経営 トップに聞く】

株式会社ゆにてつくす

会長兼代表取締役 石原 昌司

【起業家訪問 An Entrepreneur】

株式会社琉球ぴらす

株式会社大田製靴店



りゅうぎん総合研究所

琉球銀行グループ  
BANK OF THE RYUKYUS GROUP



株式会社ゆにてっくす  
会長兼代表取締役 石原 昌司

沖縄の自然を守りつつ  
社会をもっと快適にしていく  
ために環境負荷の低い  
防錆技術の研究を進める



株式会社ゆにてっくすは1982年2月に設立された、防錆、防蝕事業、車両防錆を行う企業で今年、設立39周年を迎える。沖縄県は塩害が激しく、他県と比較しても塩害による経済損失も大きい。同社では車両のほか、屋外設置機器・器具、鉄骨構造物などに防錆加工を施す高い技術力を持っている。今回、西原町字幸地の本社事務所へ石原昌司会長をお訪ねし、会社設立の経緯や業務内容、経営理念、人材育成、今後の事業展開などについてお話をお聞きした。

インタビューとレポート 新垣 貴史

#### 御社の設立経緯についてお聞かせください。

私は、この会社を設立する以前、国内大手電機メーカーの現地法人に勤務しておりました。空調機器や関連機器のセールスエンジニアとして、国の出先機関や県市町村などの官公庁へのアプローチ営業を行って来ました。業務を行っているなかで私が特に関心を持っていたことは、空調室外機の塩害による錆問題でした。当時は、設置し稼働すると1～2年も経つと中古品かと思うほど錆が発生していました。

その当時、私が出会った本で、英国のケンブリッジ大学のT.P.ホアという教授が著したイギリスにおける年間の錆に関する本の内容に衝撃を受けました。内容は英国における錆による損失はGDPの3.5%に相当するというものでした。当時の沖縄のGDPが2兆円程度でしたので3.5%と仮定すると年間700億円が錆による損失であるということになります。その頃の沖縄は平均所得が全国比で70%程度と低く、さらに、錆損失で資産を失うことに危機感と共



西原町幸地にある本社兼防錆工場



塗装膜厚の均一性保持装置



本社兼事務所



防錆処理後、膜厚を測定し、品質の管理を行う

に“ 錆止めの仕事をすれば沖縄の経済損失防止に貢献できるのではないか”と思い、一念発起し会社を退職、錆止め業務を行う会社の設立に至りました。

設立当初は、沖縄だけではなく日本国内でも「錆を防ぐ」という考えがほとんどない時代でしたので、会社設立後にも、いろいろと防錆について教えて頂いていた大学教授の先生からも「防錆が商売になるはずがない」と笑われていました。しかし私自身は必ず防錆は社会にとって必要不可欠な技術となっていくとの確信がありましたので、周りに笑われようが自信を持って事業を進めていました。

### 会社名の由来、社章について教えてください。

会社設立時の社名は、これからの時代は社内を全てシステム化するという意味で「石原システム産業株式会社」としていましたが、設立10年目を節目に unit (統合) と technique (技術) という言葉から“ 技術を統合する集団を目指す” という意味を込めて社名を unitex に変

更しました。さらに当時は非常に珍しかったと思いますが「ひらがな」表示の会社名としました。アルファベットやカタカナ表示にするのが一般的かもしれませんが、たくさんの方に親しみやすい印象を持って頂きたかったというのが一番の理由です。変更当初は「ゆにてっくす」という社名を見るとお取引先からも驚かれましたが、今では親しみを感じて頂いているように感じています。

社章は社内、社外、融和協力を象徴して輪(和)を輪郭とし、その内にシンボルとして社名の「ゆにてっくす」のUを入れ込みながら未来を見つめる目と、大きく羽ばたく羽根のイメージをデザインの基本としました。色は沖縄の青い海、青い空をイメージしています。

### 業務内容について教えてください。

業務内容は、繰り返しになりますが錆止め業務を行う会社です。沖縄県は他県と比較しても特に塩害が激しく塩分を含んだ空気にすっぽり入ったような県だと言えます。錆による経済損



献血は年に2回の恒例活動



本社兼工場周辺の草刈作業



献血には慣れている従業員のみなさん



自己啓発のための勉強会を開催

失は GDP の 3.5% と申し上げましたが、私見では GDP の 5% はあると見ています。近年の沖縄県の GDP は約 4 兆 5 千億円で仮に損失が 5% とすると年間 2,200 億円が損失となっているということになります。

防錆の対象は主に車両、空調室外機、バルクタンクなどの屋外設置の機械・器具、また鉄塔や橋梁などの鉄骨建物が対象となります。

### 経営理念についてお聞かせください。

弊社の経営理念は

- 1 私達はお客様の発展につながる最良の商品とサービスを提供します。
- 2 私達は夢と誇りある職場を創り社会の進歩と文化の向上に貢献します。
- 3 私たちは自らに厳しく他には思いやりの深い優れた人間を形成します。

この3つの言葉を経営理念として掲げています。

### 社員教育について、考えをお聞かせください。

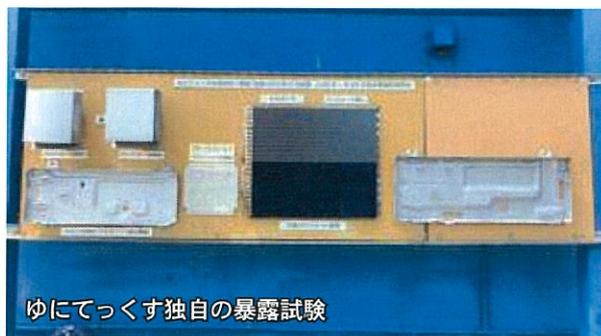
人は石垣、人は城と言われている様にいかな

る組織においても人の育成が組織の成長につながります。弊社は外部の全国規模に展開している経営コンサルタントと地元沖縄の人材開発教育研究所の2社より知恵を頂きながら経営学、計数管理、セールスに関するセミナーに社員を派遣し受講させています。

また、環境変化に対応できるマインドの勉強会、さらに業務に関する各種国家試験等に挑戦する機会をつくり、さらにしっかり勉強する時間も与えるようにしています。

その他にも、資格などの知識や技術の成長以外に人としての成長として、毎朝朝礼で「職場の教養」の朗読を行っています。その際には社員相互に感想を語り合ったり、人前で自分の考えをしっかりと発言できるような人材育成の場も持つようにしています。

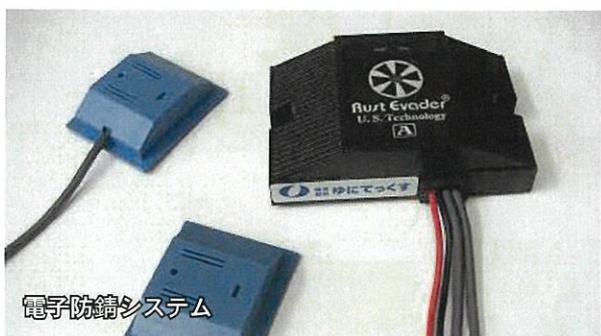
最後にもう一つ、数年おきに1泊2日でビジョン研修というものを会社独自で行っています。全社員参加で各個人の、これからの3年間の目標などビジョンを作り上げ、自分自身の将来計画を考える研修を行っています。



ゆにてっくす独自の暴露試験



豊見城市豊崎にある車両防錆センター



電子防錆システム



一台一台、丁寧に防錆加工を実施

### 社会貢献活動についてはどのように考えていらっしゃいますか。

毎年7月の第1月曜日と12月の第1月曜日に弊社の駐車場資材置き場で献血活動をおこなっています。また、毎年12月の忘年会の際には社員に寄付を募り「子供未来プロジェクト」「りゅうちゃん募金」「子供未来ランチサポート」に寄付しています。

その外、地震、豪雨、洪水などで被害を被った災害地への義援金や社会福祉協議会への寄付。そして労力奉仕として会社周辺道路の草刈り清掃活動を行っています。

また実は現在は終了しているのですが、慰霊の日が近づくと社員がボランティア活動として「平和の礎」の清掃活動を継続して行ってきました。この清掃活動を行う上で私が気をつけていたことは県民や日本人の名義が刻まれているエリアはふだんから綺麗に清掃されていますがアメリカ人やアジア系の犠牲者の方々の名義が刻まれているエリアは訪問者も少なく清掃が行き届いていなかったため、弊社が清掃活動を行

う際はそういったエリアを重点に掃除するようになってきました。数年にわたって、この活動を続けてきましたが現在は外部の清掃事業者の方が毎日綺麗に清掃されているということもあり弊社の清掃ボランティア活動は終了しています。

### 新型コロナウイルス感染症による経営の影響はございますか。

やはり経済活動低下を受けて2020年の売上は前年比ダウンしました。2021年についても、しばらくは厳しい状況は続いていくことが予想され難しい局面での神経がすり減る舵取りが必要になってくると予想されます。

しかし、今の状況をネガティブに捉えるのではなく発想を変えて社員教育に投資する時期だと捉えて、社員へ自分自身をしっかり磨く時間を十分に与えるようにしています。

### 今後の業界展望について教えてください。

鉄は鉄鉱石として地中に錆びた状態で存在し、その錆びた鉄鉱石を高炉に投入し精錬し不



社員旅行（大阪城）



集合写真

純物を取り除き鉄になります。生まれたものは元に戻るといふ理論からすると鉄は鉄になった瞬間から錆びていきます。今後は錆びにくい金属材料に対して防錆効果のよい防錆材を研究していく必要があると思います。

また防錆材に関してですが、実際利用されているほとんどが油性で、しかも2液性（つまり主剤塗料+シンナー）で塗装するものと決して環境に良いものではありません。これからは環境保護や最近注目されているSDGs（持続可能な開発目標）の観点からも、今後は水性塗料といってシンナーの代わりに水を混ぜて塗装を行うことが一般的になると思います。水で洗うことができる環境に優しい塗料のことで、このような水溶性防錆材の開発が急がれています。

## 最後に

一般的には知られていない情報かもしれませんが、日本国における特許の第一号（明治18年8月14日許可。堀田錆止塗料及ヒ其塗法）は「防錆」に関する特許です。我々、日本人に

## 企業概要

商号：株式会社ゆにてつくす  
 本社所在地：沖縄県中頭郡西原町字幸地 1081 番地  
 連絡先：TEL 098-944-6608  
 FAX 098-944-6609  
 設立：1982年2月22日（昭和57年）  
 役員：会長兼代表取締役 石原 昌司  
 取締役 2名  
 従業員数：21名  
 URL：<https://www.unitex.okinawa>  
 事業内容：防錆・防蝕事業・車両防錆  
 屋外設置の機器・器具・  
 鉄骨構造物・電子防錆システム  
 車輛防錆センター  
 住所：豊見城市字豊崎 3-36  
 連絡先：080-2721-0201

とって防錆というのは重要かつ日本の発展に欠かせない技術だったと思います。

防錆、防腐食業界は地道な仕事であり、以前によく言われてきた3Kの一つ「汚い部類」に入るかもしれませんが、我々の仕事は経済損失を押さえるという経済の裏方の役目を担っているのではないかと考えており、その役割に対して誇りを持って事業展開しています。

弊社は創立以来39年間「錆」との闘い、沖縄の自然を大切にしつつ、社会をもっと快適にしていくため環境に優しい環境負荷の低い防錆を研究してきました。これからは防錆を通して沖縄の豊かな自然を守り、若者をはじめ、すべての年代の県民の豊かな暮らしを実現すること。それが弊社の大事な役割であり、理想であると考えています。